

宮崎大学発 都農町かわら版

令和5年8月号



宮大が都農町寄附講座で
行っている活動や情報を、
定期的にお知らせします!



寄附講座とは、教育研究の進展及び充実を図ることを
目的として、大学や研究機関などに対し寄附を行い講座を設置する制度です。町とし
て単独での寄附講座の開設は全国的にも珍しく、**宮崎県内では初めての取り組みです。**

都農のブドウを
食べたい
です!

毎号変わる! 大学生に聞いてみよう 宮大生インタビュー

ながと ゆうた
長渡 裕大さん 医学部医学科6年生

日向市出身。町立病院の長期実習生(6/5~9/22)
夏休みを除く12週間、都農町に滞在し実習中。
サークル活動:家庭医療サークル(FMIG)に所属
趣味:卓球は中学、高校、大学でも続けています。

Q.大学生になって楽しかったこと、頑張ったことなどを教えてください。

FMIGの勉強会や附属幼稚園でのぬいぐるみ病院的の活動に参加し、1年生から活動しています。園児にぬいぐるみを使って問診体験をしたり、食事バランス、歯磨き、手の洗い方などを教えます。楽しかった思い出は、サークルの同期との旅行ですね。また、日本プライマリ・ケア連合学会に学生として参加したことも良い経験でした。京都と愛知に行きました。学会は堅いイメージですが、ヨガやマッサージ、お灸のコーナーがあって面白かったです。

Q.地域医療、実習について教えてください。

私は地域特別枠*で入学しました。高校生のときにFMIGを知って、地域医療に興味を持ちました。これまでの実習はコロナ禍で見学ばかりだったのですが、都農の実習では、採血などの手技や問診の他、スタッフとしてディスカッションにも参加できて、とても勉強になります。また、医療者として初めてお看取りに同伴させていただいた時の身の引き締まる思いは忘れません。

*卒業後一定期間県内医療への従事を条件とする入試制度(現:地域枠)

8月のけんこう日記から(8/19抜粋)「認知症フォーラム」

先日、貴重な話を聞くために西都市へ by都農町看護師
39歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断され、認知症と共に
生きながら働き、生活し、自らの経験を全国で発信し続けている
丹野智文さんのお話を聞きに行ってきました。
皆さんはある日突然、1人で出かけるなどと言われて
どう思いますか?財布や携帯を持つなどと言われ
どう思いますか?出来ることを奪っていませんか?
丹野さんが認知症になって感じた事。
先回りをして対策をし過ぎていていることだそうです。・・・続きは個



けんこう日記

7/31医学部皮膚科とFMIGサークルが 都農町民向け講演相談会を開催しました。

県内で皮膚科の無い市町村を巡回している皮膚科の取組みで、
今回3年ぶりの開催の相談会を都農町一之宮交流館にて、つの未
来財団と共催で実施しました。天野教授
による「皮膚がん-早期発見早期治療-」
について講演、サークルの医学部生が問
診をとり、皮膚科専門医が相談に応じる
「個別医療相談会」を行いました。ゆっ
くり先生に相談できた大変好評でした。



FMIGとは“Family Medicine Interest Group”の略で、家庭医
療・地域医療を学ぶための宮崎大学医学部学生サークルです。地
域医療・総合診療医学講座の吉村学先生が顧問をされています。
常時約10~15名の学生が活動に参加しており、毎週ランチオンセ
ミナーでスライド発表や勉強会をしています。OB・OGも含めると
100名以上!地域医療の将来を担う若者の頼もしい集まりです。

Q.将来の夢は?

都農、日向、県北で働けたらと思っています。
患者さんとの距離が近い、気軽にお話しできるようなドクターに
なりたいです。循環器内科も気になります。
各科の先生方のカラーとの相性も感じて考えたいです。

Q.中高生へのメッセージ。

いろんな挑戦をして欲しいです。医学部も自分にとって
は挑戦でした。自分にはできないと思わずに、なりたいも
のに挑戦したらよいと思います。部活や祭りなどの行事に
参加したり、今しかできない事をするのがよいですね。

大学生の話
だびょん!



7/22 PBL I で学生が子どもお楽しみ会を開催!

NPO法人たわわハートねっとさんが主催する恒例のごみ拾い行事に合わせ、南新町のふれあいの居場所にて、子どもたちを対象としたお楽しみ会を大学1年生が開催しました。

企画から実践までの一連の流れの中でプロジェクト遂行能力を培うことを目的としたPBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）Iの授業の一環で、学生たちは「一つでも多くのこどもたちの笑顔を」を目標に、企画、チラシ作成や準備などを行いました。当日はたくさんのお子どもたちが参加して、すいか割り、ヨーヨー釣り、射的で楽しみました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました!



7/18 PBL II で寺迫地区そば打ち企画会議を開催しました。

5月からデジタル茶室、懇話会を開催してきたPBL IIの学生たちが、寺迫地区の公民館利用やコミュニティーの活性化を目的に、そば打ち交流会を企画しています。

7/18、寺迫地区の方々との企画会議で日程や詳細について皆さんと話し合いをしました。既に3回目の集まりとなり、すっかり打ち解けて話し合いが出来ていました。寺迫会として公式LINEグループを作成してやりとりをする、など試行錯誤しながら進めています。



8~9月地域学部インターンシップで学生2名がお世話になります。

春と夏の長期休暇を利用して行われる地域学部正課（単位取得対象）のインターンシップで、都農町観光協会、つの未来財団に学生各1名を受入れていただくこととなりました。8月半ば~9月半ば過ぎにかけて、学生が都農町に滞在しながら勤務し、実社会での経験から学ぶ貴重な機会を頂きます。学生を見かけましたら、是非お声がけください。



☆☆8/24 中学生宮大訪問レポート☆☆

昨年に引き続き開催2回目となる都農中学生の夏休み宮崎大学訪問企画は、当初8/8の予定が台風で延期となったため、参加者が少し減りましたが、中学生8名、保護者2名が参加しました。

役場のバスで約1時間、宮崎大学に到着。大学の概要説明の後、地域資源創成学部の山崎有美先生による「食品加工技術を使ってアロマビーズを作ろう」のミニ講座を体験しました。実験室で食品科学についての講義の後、それぞれの好きな色と香りのビーズを作りました。



お昼は学食にて学生の日常を体験し、豊富なメニューで美味しかったと皆さん。午後の学内を巡るバスツアーでは、大学広報係によるガイド付きで太陽光発電の最新機械や運動施設、農学部の実験圃場や畜産学科の牛豚舎などを巡り、大学の広さを実感できました。また、図書館では大学生による館内ツアーと質問タイムがあり、3階のゆったりした空間の中で交流しました。今回の訪問を通じて、中学生からぜひ大学に行ってみたいと思った、という感想もあり嬉しい限りでした。是非また来年お待ちしております!

都農ワインで宮大生が収穫アルバイト

8月中旬から宮大生7名が都農ワインのブドウ収穫アルバイトをしています。宮大全学で公募をして農学部、工学部、地域学部の学生が参加する初めての取組みです。来月号ではアルバイト学生のインタビューを掲載予定です。お楽しみに!



デジタル版

編集・作成：宮崎大学研究・産学地域連携推進機構
 発行日：2023年8月28日（原則毎月発行）
 発行元：一般財団法人つの未来まちづくり推進機構
 問い合わせ：0983-32-1270（つの未来財団）